

技術・家庭科

昨年度の授業改善プランの検証

- ・ 題材ごとに学習記録カード・ワークシート等で自己評価を行ったことで自己の課題を発見し、課題を解決する力が高まった。
- ・ ICT機器を活用し、まなびポケットのソフトを取り入れ、分かりやすい授業の展開、体験的な学習題材を豊富に取り入れ継続的に指導したことで、問題解決能力や基礎学力も向上してきた。

生徒の様子、学力について

分 析	<p><知識・技能> 題材によっては基礎的な知識が身につけている。発展的な知識はあまり身につけていない。総合的な学力が身につけることが必要だと思われる。 基本的な技能は身に付いているが、その技能を発展させる応用力や生活に生かす力は不十分である。</p> <p><思考・判断・表現> ものづくりや衣食住を工夫して思考する意欲はあるが、自身の生活に取り入れる力が低いように思われる。基本的な学習内容が十分に理解できていないためだと思われる。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> 作業をする態度も積極的な生徒が多い。課題に解決に向けて計画を見直し修正して取り組む力は十分に備わっているとはいえない。</p>
課 題	<p><知識・技能> 基礎・基本的な学力の定着。各題材をバランスよく知識を身に付け、基礎的技能の習得を図ると共に、日常生活に生かせる技能を学ぶ。</p> <p><思考・判断・表現> 各分野で学んだ知識や技能を日常の生活に照らして生かすような課題の設定。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> どの題材においても、自己の課題を見いだす力を付け、解決に向けて学習に取り組む態度を身に付ける。</p>
授 業 改 善 の ポ イ ン ト	<p>◎授業において授業の目標を明確にし、ICT機器を活用し分かりやすい授業を心がけ、基礎・基本の定着を図る。必要に応じてグループ学習やペアワークを入れ対話的な学習の充実を図る。実技では作業の安全に十分配慮し授業を実施する。</p> <p><知識・技能> ICT機器を活用した視覚的資料、まなびポケットの活用、図を豊富に用意し、日常に生かせる技能、基礎・基本の定着を図る。</p> <p><思考・判断・表現> 授業の中で理科的知識や計算、関連教科の話題も盛り込みながら、伝統的な技術や身の回りにある製品、食材や料理について広く学び、創造し実践する力を身につける。また授業で学習した内容を日常生活に生かせるようにする。 小題材ごとにワークシートやグループ討議、発表会等を実施し、問題解決能力や知識理解の確認を定期的に行う。 タブレットを活用し、実習の考察等をまとめられるようにする。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> 引き続き学習の記録カード、ワークシート、デジタル教材を効果的に活用し、授業における生徒の学習状況をつかみながら、学習意欲への喚起につなげる。題材によってはタブレットでのワークシートも利用する。</p>